

しかま議会だより

第77号

令和3年7月30日発行



(絵) 児玉泰隆

4月・6月会議

補正予算（6月会議）	2 P
条例の一部改正	3 P
補正予算（4月会議）	4 P
一般質問（5名）	5 P
委員会活動レポート	11 P
新連載「風の人 土の人」	12 P

この駅の先にある急坂を登れなくなると、駅まで後退し、前の小川で水を補給して再出発していました。

ちなみに、普段乗降客が少ないこの駅が、一年のうち一日だけのすごく混雑したそうです。さてこの駅の名前おわかりになりますか？

補正 予算

令和3年度 一般会計補正予算

7,438万5,000円を増額し

予算総額を43億6,709万1,000円に

令和3年
6月会議

追加補正された主な事業

役場庁舎玄関等タイル改修工事	150万円
定住促進奨励金	100万円
敬老祝品支給事業委託料	623万円
子育て世帯生活支援特別給付金	585万円
強い農業・担い手づくり総合支援交付金	910万円
時短営業協力金交付事業補助金	180万円
学校一号線改良工事費	750万円
四竈二号線舗装補修工事	3,200万円
広域一号線舗装補修工事	2,000万円



令和元年度に開催された敬老会

コロナウイルス感染症の収束が見えないなか2年続けて敬老会を中止するため、敬老事業として対象者（77歳以上）の町民に5,000円分の商品券が配布されます。

令和3年定例会6月会議を、6月15日から16日までの2日間開会し、繰越計算書の報告2件、農業委員会委員の任命1件、条例の一部改正1件、令和3年度補正予算4件を全会一致で可決しました。



居久根が点在する広域一号線

条例の一部改正

●国民健康保険条例の一部改正

コロナウイルス感染症の影響を考慮し、国民健康保険加入者の負担軽減を図るため、国民健康保険財政調整基金を活用し、令和3年度の国民健康保険税においても令和2年度と同様に、均等割額を2分の1に引き下げるための条例の一部改正に可決しました。

◆国民健康保険税均等割額

区分	軽減前	軽減後
医療保険分	25,200円	12,600円
後期高齢者支援金分	7,200円	3,600円
介護納付金分	8,400円	4,200円

※2割軽減、5割軽減、7割軽減世帯の均等割額についても、それぞれ2分の1に引き下げられます。

農業委員会委員の任命に同意 (全会一致)

齋 條 仁 美氏 (清水地区)

ご活躍を期待します

※農業委員会委員に、1名の欠員が生じたための選任です。

令和3年6月 第2回会議 大原工業団地の土地処分案を可決 JA全農ラドファ株式会社の工場進出が決定！

町では、大原工業団地への企業誘致活動に取り組んできましたが、この度「JA 全農ラドファ株式会社パックごはん製造工場」の進出が決定し、6月18日に仮契約を締結しました。

工業団地用地の売却にあたっては、地方自治法及び町条例の規定により議会での議決が必要なことから、6月28日に開会した令和3年6月第2回会議に土地処分に係る議案が提出され、全会一致で可決しました。

また、大原工業団地第2工区の整備に係る土地購入に関する補正予算案も提出され、同様に全会一致で可決しました。

(1)土地の処分について

- ・土地の所在地及び面積……色麻町四竈字大原283番2 17,256㎡
- ・売却金額……1億6,565万7,600円 (1㎡当たり：9,600円)
- ・売却の相手方……JA 全農ラドファ株式会社

(2)土地購入に関する補正予算

- ・購入予定面積……21,694㎡
- ・補正予算額……4,338万8,000円 (1㎡当たり：2,000円)

4月会議
一般会計
補正予算

新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金などで
7,540万9,000円を増額
総額42億9,270万6,000円に

●主な新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

事業概要	事業費
web 会議等を利用できる環境を整える経費（公立加美病院）	660万円
町有公園内のトイレに自動水栓を設置する工事費	104万円
幼稚園・小中学校の消毒作業を行う経費	597万円
緊急小口資金又は総合支援資金を利用した方に10万円の給付金	100万円
出生児1人につき10万円の定額給付金 （子育てに係る生活支援）	400万円
全世帯に町内で使用可能な商品券1万円の給付事業	2,352万円



活 Pay（ペイ）券で買ペイ！

一般質問

色麻の未来をどうする



5人の議員が登壇



① 白井 幸吉議員……………6P

- ①認定こども園基本計画について

② 相原 和洋議員……………7P

- ①「民間活用・民間委託」で財政改善と行政効果の在りかたとは

③ 工藤 昭憲議員……………8P

- ①認定こども園について
- ②下水道事業について

④ 大内 直子議員……………9P

- ①風力発電について
- ②色麻町のコロナ対策のあり方について
- ③色麻町の自死対策について

⑤ 天野 秀実議員……………10P

- ①下水道事業のありかたについて
- ②水田の湿害対策について
- ③地域おこし協力隊事業について

「議会だより」に掲載する一般質問の内容は、紙面の関係上、質問を要約し、掲載しています。
掲載されていない質問項目について知りたい方は、議会事務局に会議録がありますので閲覧下さい。

Q 認定こども園の設置場所は

A 旧清水小学校（現幼稚園）です



白井 幸吉議員

白井

子ども・子育て会議には、何を諮問して、その結果はどうなったのか。

町長

- 認定こども園で良いか
- 運営形態について
- 設置箇所について
- 3点を諮問しました。
- 場所・所在・周辺環境・安全性・土地取得の5点の基準と、アンケートを含んだ以下の8点、
- 子どもが遊べる十分なスペースの確保
- 交通の便が良いか
- 送迎が安全に出来るか
- 災害のリスクがないか
- 自然に恵まれているか
- 町の中心部に近いか
- 財政に負担が少ないか
- 熊出没による安全性について検討をいただき、その結果、幼保連携型認定こども園による民設民営での運営に、場所は候補地5箇所の中から幼児教育にふさわしい場所として、色麻幼稚園となりました。

白井

検討で、学園周辺とする場合の土地取得の面積や金額、農地の手続きに関する説明は行ったとのことだが。

今野子育て支援室長

用地取得は必要と言いましたが、費用の提示や農地手続き関係の説明は行っていない。

白井

必要な場所と取得費用を示して、検討するべきと思うが。

今野子育て支援室長

提示すれば良かったが、場所を特定していないので、安全性や環境などで判断していただきました。

白井

幼稚園は町有地であり、購入の必要はないという判断だけになります。しっかりと資料があれば、大事な場所を決定する議論が出来ないし、

偏った判断になって、説得力を欠きます。

執行部は最初から、場所が幼稚園ありきではと疑問を持ってしまうが。

町長

そういうことはありません。候補地の中で、用地買収や価格については

町長

Q 送迎も含め再検討すべきでは

白井

基本計画に送迎は色麻学園周辺が利点と載っている。今回の決定は送迎の利便性を無視し、土地取得の財政負担抑制を優先させているだけだが。

町長

我が町は2号認定（保育を要する園児）が多いので、これまでの送迎と何ら変わりません。

町長

しい資料を提示すべきだ。子育て会議から求められた資料は、全部提出しています。

白井

幼児教育にふさわしい場所を選ぶためにも、詳

白井

学園周辺の利点として「町の教育施設の連携がとりやすい教育ゾーンが形成出来る」との事だが。

半田教育長

これは子育て会議の内容であり、考えとしては移動短縮による物理的な連携が執りやすい、子どもを巡る職員同士の情報交換など他にもあると思うが、近いから良いとは

町長

結論は得られたので、尊重して進めたいと思います。

とらえてはいません。

白井

将来を考えたとき、子育て会議に、様々な情報を提供して、再度検討してもらふ余地があると考えるが。



相原 和洋議員

Q 町長の考える「民間活用」とは

A 行政サービスの向上と財政軽減につなげること

相原

町長の言う行政との関係の「民間活用・民間委託」の考え方は。

町長

多様化する住民ニーズへの対応や行政サービスの維持・向上のために民間事業者の持つ人材や資源・資金やノウハウなどを活用することです。

相原

民間活用する上で行政として、どのようなことが必要不可欠と考えているのか。

町長

住民へのサービスの低下があつてはいけないことと財政への負担が増えてはいけないことです。

相原

今まで「民間活用」してきて、具体的に行政の事業でどれだけの効果・成果がでたのか。また、その際の判断基

準は。

（具体的な事業名と判断基準）

町長

事業としては、平沢交流センター、地域活動支援センターの指定管理者制度。学童保育事業及び給食センターの民間委託。また、地域活性化住宅事業のPFIです。

効果・成果及び判断基準においては、平沢交流センターは企業の持つノウハウを活かし、集客・固定客の確保と施設の設置目的が達成できること。地域活動支援センターは障がいのある方が生活・作業訓練の活動を通して、社会復帰や参加ができるように努め、利用者が安心して活動できるものであること。

学童保育事業については事業者が持つノウハウを活かし質の高い運営体制を期待し、給食センターにおいては民間の持つ専門知識や経営能力や技術力を活用し、栄養士

と相談しながら献立の多様化が図れること。

そして地域活性化住宅事業については、事業者による建設によりインシヤルコストの削減や借り上げ物件によるランニングコストの削減も図られている。

相原

第5次長期総合計画の「重点戦略」を基礎に、具体的な実施計画に「民間活用」を利用する考えの事業はあるのか。ある場合、どのように民間活用を図り行政効果に繋げていくのか。

町長

シルバー人材センターの活用、「認定こども園」の整備や農業伝習館の指定管理。また七十七銀行との「地方創生に向けた包括連携協定」の締結など町の財政負担が生じないような運営を図ってきたい。

相原

色麻町の産業資源を民間活用で図る考えはあるのか。

町長

民間活用の構想として「バイオマス発電計画」を現在も進めております。

相原

それ以外の産業や資源の活用は、例えば大滝キャンプ場の整備活用等

町長

観光については財政面で考えると難しく、今のところ考えてはおりません。

相原

将来的に色麻町が継続する上で民間とどのようなつながり方を考えているのか。

町長

企業に色麻町をもっと知ってもらわないといけない。その為に一つ一つ考えて、できることをやっていきたい。

※ PFI とは

公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法です。

Q しっかりした資料を基に会議進めたか

A 1年かけて結論を出したので、尊重します



工藤 昭憲議員

工藤

子ども・子育て会議より答申されたようですが、その内容に沿って町長はどのように判断されたのか。

町長

答申内容は、1つ目として、認定子ども園の建設が必要である。2つ目は、その設置・運営形態は民設民営が望ましい。3つ目は5カ所の建設候補地を検討した結果、色麻幼稚園の場所が適地との結論になりました。

工藤

前の答弁では、国道の近くでなければ業者は来ないと言っていたが、色麻幼稚園近辺に国道はないが業者は来るのか。

町長

確信はない。公募して見ないと分からない。今回は、委員も新たになり白紙の状態で諮問した結果、現在の色麻幼稚園と

なりました。

工藤

学園周辺に土地を求めるとした場合、費用は1億1千万円と報告しているがその根拠は。しっかりした資料を基に会議進めたか。数字だけが一人歩きしたのではないか。

町長

場所の特定をしないで、あくまでも周辺として検討し、子育て会議の皆さんが1年かけて結論を出したので、それを尊重します。

「ボク浄化槽、早く働きたいな！」



設置を待つ合併浄化槽の勇姿！

工藤

町では、「下水道で快適な生活環境」を謳い文句に下水道を整備したが、未だ3事業が進んでいない。進んでいない理由は。

町長

特定環境保全事業で76・0%、農業集落排水

事業で84・3%、個別排水事業では46・5%となっています。下水道へ接続が進んでいない理由は、高齢者世帯や各家庭の財政事情、新築やリフォームの際におこなう。また、簡易水洗など不便を感じないなどの理由です。

工藤

何年も同じ状況が続いている。対策は講じてきたのか。また、どのようにして事業の促進を図るのか。

大規模水道課長補佐

改造する際百万円まで無利子で、融資しています。また、広報紙やチラシの配布、秋祭り下水道相談コーナーなどPRして来ました。より一層PR活動に努めます。

工藤

先の所管事務調査で土側溝への放流箇所の指摘あったが何箇所か。

町長

設置戸数276戸中、39戸です。

Q 下水道の3事業進んでいない理由は

A あまり不便を感じないためです



大内 直子議員

Q 公共施設閉鎖は思考停止では

A 感染拡大があれば閉鎖する

大内

コロナ対策として、町の公共施設の使用を禁止しましたが、宮城県から、公共施設の使用について、何かが要請はあったのですか。

町長

具体的要請ではなく、不急の外出を避けるという事です。

大内

13の施設を使用禁止にするにあたり、一つ一つ禁止すべきかどうかを検討しましたか。

町長

公共施設関係は全部とすることで禁止しました。

大内

公民館など部屋を貸す場合、マスク着用と会食の禁止で対応できたのでは。

町長

宮城県でも相当な勢い

で感染が増えていた。これ以上感染させないという事で禁止しました。

大内

近隣の図書館では、机の使用は禁止にして本の貸し出しのみという対応をしたところもあったが、公民館図書コーナーでそういう検討はしましたか。

町長

しておりません。

大内

公園の遊具の使用禁止は、保護者同伴や、子どもにわかる約束事を作るなどで対応できませんでしたか。

町長

人と接触する機会をなくすという考えでの判断です。

大内

役場庁舎は、どのような対応をしたのですか。

町長

手洗い・消毒という当たり前のことの徹底です。

大内

色麻町で一番人流があるのは役場で、仙台からも東京からも来ます。その役場では、マスク・換気・三密を避けるということこれまでのコロナ対策で乗り切りました。役場に比べてはるかに人流の少ない町内各施設は、使用禁止にするべきではなかったのでは。

町長

見解の相違としか言いようがない。

大内

町として政策を考えるときに必要なのは、思考停止にならず、よく考えることだと思います。考えたことを説明し、状況が変わったら、またきちんと説明して方向転換する。弾力性・柔軟性があり、風通しがいいことが大事だと思います。

町長

町民をウィルス感染から守るのが第一。またウィルス感染が拡大する可能性がある、施設利用の禁止ということになります。

Q 気軽に話せる環境、政策の視点に

A 地域の中でのつながりは大事

大内

日本一自殺が少ない徳島県海部町では、気軽にしゃべりできるサロンのような場が非常に多い。様々な困難に直面したとき、それが深刻な状態に

町長

なる前に相談する人がいる、また弱音や愚痴を言える相手がいるとだいぶ違う。そういう環境を、町のあちこちにどう作るかというのは、政策を考えるうえで重要な視点ではないでしょうか。

地区のコミュニティ推進ということで事業がスタートしました。地域の中での人と人とのつながりは大事だと思います。

Q 公共事業の副作用です。改善せよ

A 対応を考えています



天野 秀実議員

天野

平成29年度完成の道命3号線の舗装改良工事に伴い、完成後に一部の水田に強い湿害が発生したために、たいへん苦労されている地権者の方々がおられますが、強い湿害の現状と対策について伺います。

町長

28年6月、側溝から離れた田から水が湧いて出るのを確認しました。また令和2年10月、所有者から工事をしたことにより水はけが悪くなったので現地を確認してほしいとの連絡があり確認したところ田の隅がぬかるんでいることが確認されました。

天野

道路の舗装工事を行ったことにより所有者の方の水田条件が明らかに悪化したとするならば、色麻町の責任で改善する必要があることは、いうま



湿害発生箇所…工事が原因か？

町長

でもないことだと考えますが、いかがですか？
今後とも工事との因果関係を含め、引き続き現地調査を実施して、町としてどのようにしたらよいかを考えます。

Q

地域おこし協力隊事業に期待

A 2名の方を募集します

天野

地域おこし協力隊事業が終了するまでに必要とされる予算総額と、この事業のねらいを伺う。

町長

この事業は、令和4年度から6年度までの3年間の予定となっていて、2名を募集します。予算総額は、3千80万円と見込んでいます。

天野

将来、色麻町に定着していただけるよう、さらなる努力と奮起を期待します。特に上司になられる課長には、初期の目的を達成するよう特に期待します。



地域おこし協力…し隊

菅原企画情報課長

募集にあたり的確な情報発信と、そのための準備にあたります。

山田産業振興課長

3年後に定住が実現できるように具体的検討をしています。

委員会活動 Report



総務教育常任委員会

委員長 相原和洋

(1) 調査期日

令和3年5月26日(水)

(2) 調査項目及び要望

① 地域おこし協力隊

令和3年度から隊員を募集し、令和4年度から活動開始予定。活動期間は概ね1年以上3年以内とする。なお、鳥獣対策支援に1名、農業支援1名を考えている。募集経費に199万3千円を予算化し9月頃までPR動画を作成予定している。

※委員会としての要望

色麻町は他の自治体よりも遅れているが、実施するかぎり国の補助事業ありきの「腰かけ事業」にならないよう努めて頂きたい。併せて町全体としても協力隊をしつかりと受け入れできる環境づくりも図って頂きたい。

(2) 企業誘致

今回、JA全農が加美

よつばラドファのパックごはん事業を取得し、新工場の設置計画、製造、販売事業への参入を決定。また、サトウ食品株式会社(資本参加し品質管理・運営に協力。社名も「JA全農ラドファ株式会社」の予定。

※委員会としての要望

売買に楽観することなく2工区、3工区も執行部一丸となって、販売できるよう努めて頂きたい。併せて町内の方々の雇用の場にもなってもらえるよう企業への働きかけを図って頂きたい。

③ 教育委員における「認定こども園基本計画」

との関わり
こども園基本計画につ

いては教育長から教育委員へ説明のみのこと。

質疑等で現幼稚園の解体費用や保育料はどうなるのかなどの意見が出されたが明確な資料や回答が得られず、「関わり方が不透明」ではないかと意見などが出された。

④ ケアハウスの現状

支援児童生徒には、学校と家庭との連携により対応している。

また、令和2年度の成果と課題を明確にし、令和3年度に活かすすめている。

※委員会としての要望

成果と課題に取り組み更なる充実を図り、支援児童生徒のことを第一に考えた事業にして頂きたい。

産業民生常任委員会

委員長 白井幸吉

(1) 調査期日

令和3年4月19日(月)

(2) 調査項目及びまとめ

① 新型コロナウイルスワクチン接種

ワクチン接種は、国が示す順位により、医療従事者や65歳以上の方等の順に行う予定である。

※委員会としての提言

1. 事前のシミュレーションにより対応すること。

2. ワクチンを無駄なく使用し、副反応対処の周知を行うこと。

② 認定こども園基本計画

基本計画では、色麻幼稚園に設置し、運営形態は民設民営となった。

質疑では、子ども・子育て会議委員の判断を仰ぐための資料は、偏りと不充分さがあり、場所決

定の決め手としては説得力が欠けています。

また、保護者の利便性より財政負担抑制を優先させる等、将来を見据えた計画なのか疑問であり、計画の精査を求めます。

③ 個別排水事業

これまでの水洗化率は45・6%であり、早期完了のため融資引き上げを検討とのことである。

※委員会としての提言

1. 早期完了のための計画と、浄化槽の排水基準を策定すべきである。

④ 放射能汚染牧草処理

町内に、400ベクレル以下が487t、400ベクレル超えの牧草が123t保管されている。

今後、400ベクレル以下は町内畜産農家の農

地に、了承の下、すき込みの実施。400ベクレル超えは再測定を行い、400ベクレル以下はすき込みとし、400ベクレル超えは集約化を検討する必要があるとのことであった。

※委員会としての提言

1. 400ベクレル以下はすき込みで減量を行い、400ベクレル超えは集約化の場所の検討と、フレコンの詰め替え方針を決めておくべきである。

風の人 土の人

まちは、他所（よそ）から来た
“風の人”と、地元生まれ育った
“土の人”で成り立ち、まちの風土
が作られていく

大原地区

花井 和美さん



はない・かずみ
1974年生まれ 色麻町出身
大原地区在住
夫と高校1年、小学5年の4人家族

※フレミズとは
フレッシュミズの略称で農協女性
部内の若手グループのこと。

わたし、 色麻が好きなんです

星を見るのが好きな
家族です

星がきれいな時、家族み
んなで外に出てずうっと
星を見てるんです。「今日
もきれいだね。これ都会
だときれいに見えないよ
ねえ」って話しながら。何
年か前に、流れ星がシュ
ン！シュン！って次々に見
えたこともあります。心い
やされますね、星を見ると。

子どもができてから、日
の出地区にある実家の隣に
家を建てました。地元の人

子どもたちは、畑の
手伝いを普通にします

ばあちゃんがジャガイ
モ掘るっていうと「私手伝
う」とか、じいちゃんがハ
ウスに水やりする時「じゃ
あ僕がする」とか。昔から

は、ちっちゃいころから私
を見てるから、道で会うと
よく声をかけてくれる。何
作ったから食べなさいとか
皆によくしてもらっていま
す。ありがたいなあ、地
元って大切ななあって思い
ます。

子育て支援で「緒だった
お母さん達でフレミズ
を立ち上げました

もう子どもは大きくなっ
たけど、今だに皆仲が良く
て。皆で農協女性部の女性
大学を受講し、一昨年フレ
ミズを立ち上げました。
秋保で若い人たちが経営
する農家レストランに皆で
行きました。古民家を改装

見てるから、普通に畑のこ
としますね。土をさわるっ
ていうのは、すごくいいこ
とだと思う。
もぎたてのキュウリに味
噌つけて食べるの、子ども
たちも大好きです。やつぱ
り美味しいですね、自分で
手をかけたのは。

健康が大事

父の野菜作りを手伝いな
がら、近所のおばちゃんに
誘われて直売所に野菜を出
し始めました。タラの芽や
栗など、昔から食べてきた
ものも少しづつ商品に。

何かできることがあれば
チャレンジしたいし、その
ためには健康が大事。家族
が健康に暮らすことを、ま
ず大切にしたいです。

（文責 大内直子）

次回の会議は

9月7日(火)からの予定です。

議会の様子はパソコン・スマホで、
生中継（録画）されております。

編集後記

今回から、一人でも多くの町
民の皆様、この議会だよりを
読んでいただきたいとの思いか
ら、事前に速報版を発行いたし
ました。議会だより77号に、関
心をよせていただき、速報版で
はわからない議員の熱い内容を、
読み取っていただけたらと思っ
ております。

表紙の絵は加美一の関駅で、
雨上がりの日などは愛宕山で
よくスリッパしていたよう
です。その時は、乗客が降りて押
すというエピソードがあります
が、一番先に降りるのが男子学
生（乗る時に女子学生の隣に座
る為の作戦）だったそうです。
その後には大人の男性・女子学生
の順と、一定のルールが存在し
たそうです。

我々議員も、町民の皆様と一
緒に、様々なルールを守りなが
ら、よりよい町づくりを目指し
ております。コロナがなければ
夏祭りを迎えている季節、もう
少しだけ我慢して頑張りまし
ょう。

文責 佐藤 忍

議会広報常任委員会

議長	中山 哲
委員長	佐藤 忍
副委員長	大内 直子
委員	天野 秀実
委員	佐藤 貞善
委員	福田 弘
委員	河野 論